

# 妙安寺だより 404

## 法華経の守護神 ①

法華経・日蓮宗寺院では、仏様だけでなく、神様もおりにしています。づは、当山の守護神の説明から始めていきます。

### 鬼子母神

安産や子育ての神様として名高いですが、もとは人の子を取って食べる悪い鬼でした。のちに仏様の教えを聞いて（仏教読みでは「さんげ」）し、仏様に帰依しました。

法華経の第26で、法華経の行者・信者を守護することを仏様に誓い、守護の呪文を唱えて、行者を悩ます者の罪の恐ろしさ（「」頭は七つに割れるだろう）を述べ、行者を守護する堅い誓いを表明しました。

日蓮聖人も、法華経の守護神としてし、弟子信徒にも鬼子母神の守護を強調して信仰を励ましています。

日蓮宗信仰の特徴のひとつにも数えられるようになり、また、祈祷する際のご本尊としてめられています。

時代劇にもでてくる有名な寺院としては「入谷の鬼子母神（真源寺）」「雑司がの鬼子母神（法明寺）」があります。

また、「」が家紋としてつかわれています。人の肉の味を忘れられない鬼子母神に対し、仏様が柘榴の実を与えた、という言い伝えから、柘榴が紋となっています。

## 4月の行事予定

4月7日(土) 午後2時 勉強会

**\*17時半に閉門します。**

**\*護持会会費未納の方は、お納めください。不明の方は受付にて問い合わせ下さい。**

**\*護持会規約が改正されています。よくよくご確認ください**

**\*「地涌の声」の功德主を募集しています。4・5・7月以外はあいています。**

**\*ゴミの分別にご協力下さい。掃除道具は元の場所へ。**